

NCS4KでのSMAUG FPD "NOT READY" ; のトラブルシューティング

内容

概要

[NCS4Kの「SMAUG FPD NOT READY」のトラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、SMAUG - Field Programmable Device(FPD)「NOT READY」を修正する方法と、根本原因分析(RCA)のために収集する必要があるログについて説明します。

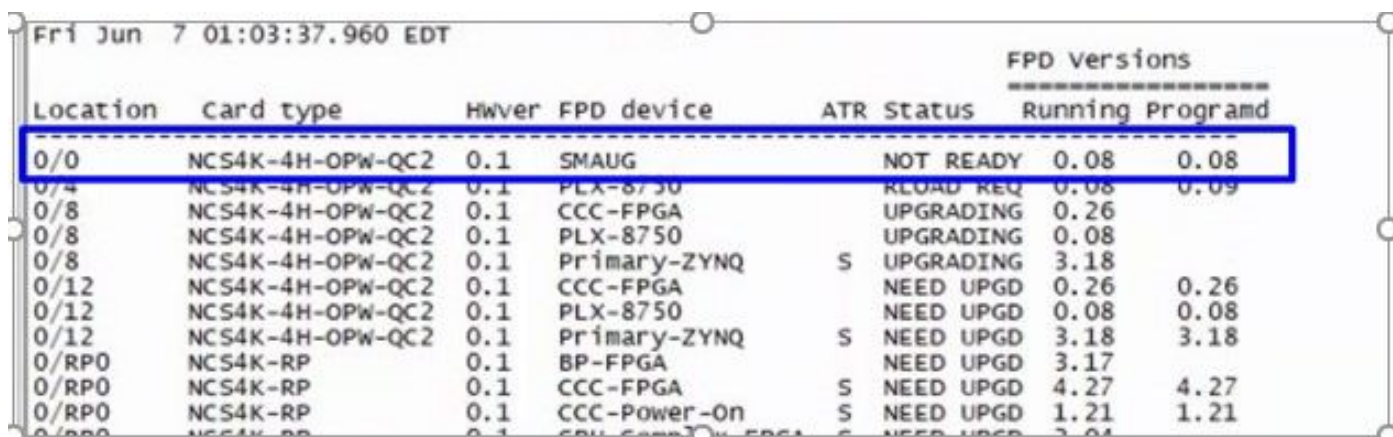
NCS4Kの「SMAUG FPD NOT READY」のトラブルシューティング

プラットフォーム : NCS4K

カード : 400Gラインカード - NCS4K-4H-OPW-QC2

考えられるトリガー : FPDのアップグレードとカードのリロード、RPのリロード、またはスイッチオーバー

この問題を次に示します。



```
Fri Jun 7 01:03:37.960 EDT
                                FPD Versions
                                *****
Location  Card type      Hwver FPD device      ATR Status  Running Programd
-----
0/0       NCS4K-4H-OPW-QC2  0.1   SMAUG              NOT READY  0.08      0.08
0/4       NCS4K-4H-OPW-QC2  0.1   PLX-8750          RLOAD REQ  0.08      0.09
0/8       NCS4K-4H-OPW-QC2  0.1   CCC-FPGA          UPGRADING  0.26
0/8       NCS4K-4H-OPW-QC2  0.1   PLX-8750          UPGRADING  0.08
0/8       NCS4K-4H-OPW-QC2  0.1   Primary-ZYNQ     S UPGRADING  3.18
0/12     NCS4K-4H-OPW-QC2  0.1   CCC-FPGA          NEED UPGD  0.26      0.26
0/12     NCS4K-4H-OPW-QC2  0.1   PLX-8750          NEED UPGD  0.08      0.08
0/12     NCS4K-4H-OPW-QC2  0.1   Primary-ZYNQ     S NEED UPGD  3.18      3.18
0/RP0    NCS4K-RP          0.1   BP-FPGA          NEED UPGD  3.17
0/RP0    NCS4K-RP          0.1   CCC-FPGA          NEED UPGD  4.27      4.27
0/RP0    NCS4K-RP          0.1   CCC-Power-On    S NEED UPGD  1.21      1.21
0/RP0    NCS4K-RP          0.1   BP-FPGA          NEED UPGD  3.21
```

問題のある状態が描かれる

収集するログ :

- XRから : `show tech-support stat`と `show tech-support slice-manager`
- Adminから : `show tech-support slice-manager`、 `show tech-support shelf_mgr`、 `show tech-support ccc`、 `show tech-support HBloss`
- XRから : `dumpcore running grima_driver location`
- アクティブなLCから、`grima`と`dma`のトレースを取得します。XRプロンプトから手順を実行します。

```
#attach location 0/lc0
```

```
Fri Jun 7 00:20:00.329 CDT
```

```
[xr-vm_node0_LC0_CPU0:~]$ export PS1=#
```

```
#lspci -vd:8bec
```

```
#grima_ltrace_show -A
```

```
#nl_dma_ltrace_show -A
```

問題を回復するには、次の手順に従います。

- XRから次のプロセスを確認します。 grima_driver と slice_manager アクティブなLCロケーションに対して再起動します。

```
show processes grima_driver location <0/LC0 or 0/LC1 - active LC>
```

```
show processes slice_manager location <0/LC0 or 0/LC1 - active LC>
```

```
Process restart grima_driver location <active LC>
```

```
Process restart slice_manger location <active LC>
```

これにより、ほとんどの場合、問題を解決する必要があります。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。